



中学生が参加した河川清掃

荒町地内の右支夏井川



夏井川浄化の活動

「夏井川友の会」を主宰する高橋宗彦さん(仲町)は、「各自ができる範囲での環境活動を地道に行い、町の中心を流れるこの川を確実にきれいにしたい」と、現在では小中学生を含む約三千人にも上るボランティア活動を展開しています。

活動の中心は、春・秋の川底の清掃、堤防に植生する桜並木の整備、水生物や水質の調査など多岐にわたり、活動を通じてふるさとへの関心や親しむよい機会になったと会の活動を振り返ります。

宮城県気仙沼市の漁師の方々が豊穡な漁場育成のため上流の山腹に広葉樹を植えたように、いわき市を経由して海に至るこの川を、上流地域が浄化活動を行うことにより、豊かな山河を醸成して上流域のなすべきことを考え活動をしています。

平成十二年には夏井川上流域連絡協議会を発足させ、現在山口・岐阜・新潟・三重四県と同様な団体と交流も行っており、今年の春には福島県内各地の五十三団体からなる交流会を実施予定です。



高橋会長

まちの玄関口を花いっぱい

新たな環境ボランティア団体として今年発足した「こまちみどり愛護会」(会長 阿部君江さん 本町)は、初の活動としてあぶくま高原道路小野インターチェンジ付近にキリシマツツジ六百本の植栽作業を行いました。

今年度平田インターチェンジまでが開通するあぶくま高原道路と磐越自動車道が交わる小野インターチェンジは、町の玄関口としてイメージアップが欠かせません。これまでは行政などが環境美化を行ってきましたが、新たに地域住民主体の活動に移行し、周辺環境の向上・維持にあたります。

会では多数の参加を呼びかけています。詳しくは建設課(七二六九三六)までご照会ください。



阿部会長

あぶくま高原道路へのツツジの植栽

